

# 三井化学 R&D 生成AI活用の全貌：文献調査を「1ヶ月から1日」へ

三井化学がいかに戦略的な投資と技術開発によって、化学業界における生成AI活用の先駆者となったかを可視化する。

## R&Dを加速する革新的AIツール



### 文献調査

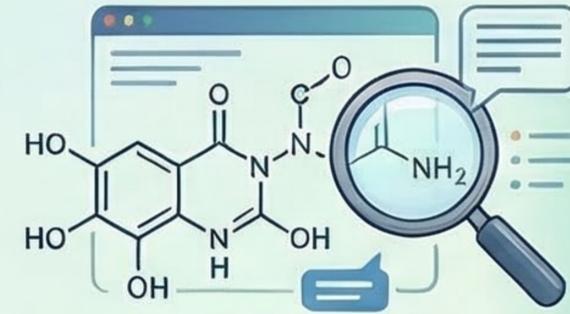
従来、化合物情報の抽出・調査に費した時間



文献調査時間を  
**80%以上削減**



わずか1日へと劇的に短縮



マルチモーダルAIが副業（構造式）とテキストを総合総連し、自標的に情報を収集。



特許分析から用途探索までを自動化

2024年末導入の特許チャットが、新規用途の発見効率を3倍に向上。



導入効果：  
80%以上の時間削減



新規用途探索：  
発見数が約2倍に増加  
IBM Watson × GPTの融合効果

## 変革を支える強固な基礎



製造・物流：  
在庫金額  
数億円規続削減  
NECの需要予測AIを活用



2030年度までに  
1,000億円を投資

長期経営計画「VISION 2030」のもと、DXを企業業家の基礎として位置づけ。



全社員1万人の  
DX教育を完遂

役員を含む社員がリテラシー教育を修了し、専門人材165名の育成を推進。



国内外の最先端拠点と  
パートナーシップ

デジタルサイエンスラボ®を視点に、IBMやNEC等と多層的な連携を構築。